

Air bike

取扱説明書

bicycle-351 assist 電動自転車

自転車を安全・快適にご使用いただくため必ずお読みください。



いつまでも安全にお乗りいただくために、
電動自転車の正しいご理解とご使用をお願いいたします。

◆仕様、その他の変更などにより、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

■この度は《Air bike》をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

《Air bike》は、電動アシスト走行機能を搭載した自転車です。

ご使用前に、安全上に関しますご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は組立てが必要です。

組立てが完了し、自転車のご乗車前には必ず説明書の記載事項をご確認いただきまして、自転車の点検・調整を行なった上でご乗車ください。

ご使用前に

- 未組み立てや未調整の自転車には乗らないでください。
- ブレーキやハンドル・サドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検は必ず行なってください。
- 各部品が正常に取り付けられていることをご確認ください（「各部名称」ページ参照）。
- 改造しないでください。
- 安全に長くお乗りいただくためにも、定期的に弊社または自転車に関する整備士、それと同等の技能を有する者による点検を受けてください。
- 購入後2ヶ月以内は、ネジや各取り付け部品のなじみなどの影響でゆるみが生じやすくなっています。ネジ等にゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、増し締めを行なってください。
- 初期の点検・確認をされずにご乗車されての故障は有償でのご修理となります。
- 水圧のかかる洗車や雨天でのご使用、雨つゆや直射日光のあたるような場所での保管は、錆や故障の原因となる場合がありますので、十分ご注意ください。
- 不安定な場所に自転車を保管しないでください。
- タイヤの空気入れは米式バルブです。ホームセンター・自転車販売店でもお求めいただけます。
- 飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調が悪いときは乗らないでください。
- ハンドルや手に荷物やペットのリードをつないでの使用はおやめください。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル等を履いて乗らないでください。ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- 二人で乗らないでください。ハブステップを取り付けての乗車は大変危険です。また、二人乗りで使用された場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- かさをさして乗ったり、片手運転や手放し運転はしないでください。
- かさやステッキなどの棒状のものを下げたり、差し込んだりしないでください。
- 下り坂や雨の日、ぬれた路面等は大変危険です。スピードを出しすぎないでください。
- スピードの出しすぎでの急ハンドル、急カーブはおやめください。
- 自動車の横を走行するときは、必ず安全を確認してください。
- 凹凸の激しいところでは乗らないでください。
- 巻き込まれやすい服装（裾の長い服や生地の薄い服、マフラー等）では乗らないでください。
- 乱暴（アクロバットの）な運転はしないでください。
- 視界の悪いとき（夜間や曇天）、無灯火で乗らないでください。
- 自転車の走行以外の目的では使用しないでください。
- 交換部品は必ず純正部品を使ってください。
- 異常がある場合は乗らず、すぐに販売店へご相談ください。
- 防犯上の観点から、弊社では自転車固有の車体番号を記録・保存していません。
- 自転車防犯登録は、自転車に問題がないことを確認した後に行なってください。万一、防犯登録後に初期不良が発見された場合は、自転車返送前にお客様側にて防犯登録の解除をお願いする場合がございます。
- 自転車の梱包材（外箱等）は、自転車に初期不良がないことを十分確認した上でご処分ください。初期不良ご対応期間は商品到着から8日以内です。梱包材を処分された後、弊社に自転車を返送していただくことになった場合、初期不良ご対応期間であっても自転車の梱包代（500円～1,000円）をご負担いただくこととなります。※自転車の梱包材は安心修理サービスご利用の際にもお使いいただけますので、可能な限り保管をお勧めいたします。

前輪ロックに注意してください

前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が急に停止してしまう状態を指します。衝突と同程度の衝撃があり、前のめりに転倒して非常に危険です。前輪がロックされる原因には下記のものがあります。

- ・ハンドルにぶら下げたバッグ等が前輪や前輪と車体との間に入ったとき。
→ハンドルにバッグ等をぶら下げないでください。
- ・前カゴに入れた細いひも状のもの等が前輪の間に挟まったとき。
→ペットのリードなどが巻き込まれて事故を起こす原因となることもあります。
前カゴ、ハンドルには細いひも状のものを入れたりつけたりはしないでください。
- ・スピードを出して、前ブレーキのみをかけたとき。
→ブレーキをかける際には、必ず両ブレーキをかけてください。
また、スピードの出しすぎには十分注意をしてください。
- ・スポーク切れやその他の原因によって、リムが横振れしてタイヤと車体が接触したとき。
→定期的に点検を行なってください。
- ・何らかの原因でフロントフォークが曲がっていたり、ネジがゆるんでいたりして、ブレーキゴムがタイヤと接触したとき。
→定期的に点検を行なってください。
- ・前輪のネジがゆるんで車輪が傾いたことにより、タイヤと車体が接触したとき。
→定期的に点検を行なってください。
- ・外部から異物が車輪の間に入ったとき。

禁止事項

※1ページの「ご使用前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。（重複している項目もございます）

- カーブではスピードを出さないでください。曲がり切れずに転倒する等の事故を起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに入ってください。
- 無灯火で乗らないでください。
- 走行中にブレーキワイヤーを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。事故の原因となります。
- カーブでは曲がる側のペダルを下にしたまま走行しないでください。ペダルが地面と接触して、転倒や事故の原因となります。
- 滑りやすい場所や状況では使用しないでください。雪道や凍結した道、鉄板やマンホールの上など、滑りやすい場所では一旦自転車を降りて、押して通るか避けて通るなどご注意ください。
- 視界の悪い状況では使用しないでください。非常に危険です。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル、下駄等を履いて乗らないでください。ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- ご乗車時にはギアやチェーンなどに巻き込まれやすいような服装は避けてください。
(裾の長い服や生地が薄い服、マフラー等)
- 片側だけのブレーキ操作はおやめください。走行バランスを崩すことがあり、大変危険です。
- 急ブレーキをかけないでください。タイヤがロックされたり、スリップして転倒事故の原因となります。
- 凹凸のある道、段差の激しい道は走らないでください。簡易舗装道路や工事中の場所・道、砂利道は非常に滑りやすくなっています。
また、バランスを失うこともあり大変危険です。階段や軌道敷内の走行もおやめください。
- 二人乗りやアクロバティックな使用はおやめください。二人乗りは法令により禁止されています。
- 後輪にハブステップをつけての二人乗りはおやめください。
保証の適用外にもなりますので、十分ご注意ください。
- 自転車を改造しないでください。改造された自転車は保証適用外になります。
- 濡れた道や下り坂では、スピードを出さないでください。これらの条件下では、通常の路面と比べて制動距離が長くなります。適切なスピード（徐行）と余裕のあるブレーキ操作を心掛けてください。
- 荷物を手やハンドルにかけての乗車はしないでください。また、かさやステッキや釣竿など、長尺物を自転車に差し込んだり下げたりはしないでください。バランスを崩したり、回転部分にはさまって車輪をロックさせる可能性があるため、大変危険です。

禁止事項

※1ページの「ご使用前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。（重複している項目もございます）

- 踏み台に使用する等、本来の使用目的（走行）以外での使用はおやめください。
バランスを崩して、転倒や怪我の原因となります。
- 山岳・河川等で使用しないでください。
ハンドルやフレーム、自転車の重要部品に重大なダメージを与えたり、破損の原因となります。
これらの場所や類似する場所での走行は絶対におやめください。
- 薬やアルコール等を摂取した状態では乗らないでください。
また、体調の悪いとき（体力の低下や疲労時）の乗車もお控えください。
- 自転車に異常があるときは使用しないでください。異常があるまま走行すると、車体や部品の破損原因となり、転倒や事故などの深刻な事態を引き起こします。
- ブレーキパッド、ブレーキシュー、リムに注油はしないでください。ブレーキが正常に作動せず、大変危険です。
- 二台以上で走行するときは、横にならんでの走行はおやめください。
- イヤフォン、ヘッドフォンを使用しての走行はおやめください。
- 転倒時の二次的災害を避けるため、必要以上の装備を持つてのご使用はおやめください。

自転車に異変を感じたら、ただちに使用を中止し、点検・整備を行なってください。
修理が必要な場合は、お早めに販売店にご相談ください。

お手入れと保管について

- 走行後は乾いた布やブラシで、泥や土・埃などを落としてください。
- 雨に濡れたときは、乾いた布でよく拭いたあと、ブレーキレバー可動部、チェーン、リヤに注油してください。
- メッキ部分は乾いた布で良く拭いたあとに、錆止め油もしくは機械油を染み込ませた布で拭いてください。
また、この時表面に余分な油が残らないよう、再度乾いた布で仕上げ拭きをしてください。
- 塗装面は良く汚れを落としたあとに乾いた布で表面を拭き、自動車用のワックス等を使用して、塗装を保護してください。また、塗装面にはシンナーなど有機溶剤を使わないでください。
- 湿度の高い場所や、高温になる場所に保管しないでください。錆や部品変形の原因になります。
- 雨のかかる場所での保管はおやめください。カバーをかぶせるなど、水気があたらないように保管してください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。日光に含まれる紫外線は塗装面やタイヤを含む樹脂部品の劣化を早めて、損傷に繋がる恐れがあります。
- サドルやブレーキレバー、グリップには注油しないでください。操作の際滑ることがあり、大変危険です。
- タイヤには油をつけないでください。劣化やスリップの原因となり、大変危険です。
- リムやブレーキシューなどの制動面には注油しないでください。正常に作動できなくなり、大変危険です。

消耗品とご修理について

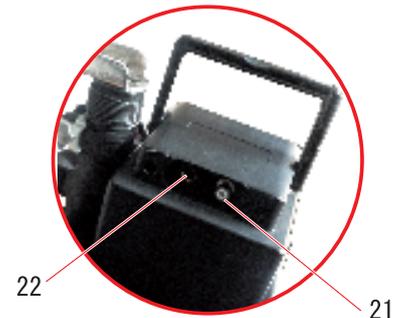
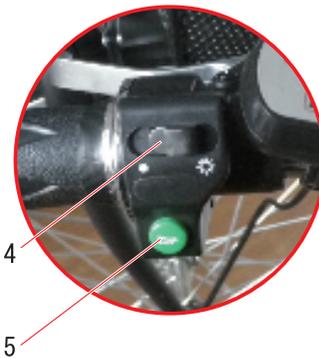
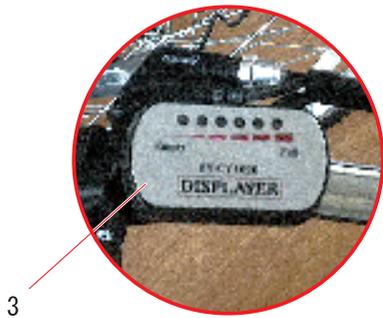
- タイヤ、ブレーキワイヤー、ブレーキシュー、バッテリー等は消耗品です。
お求めの際には、販売店までお問い合わせ下さい。価格および納期をご案内させていただきます。
※在庫状況によりましては、海外の工場よりお取り寄せとなる場合がございます。その場合は、入荷まで1ヵ月以上お待ちいただくこともございます。
- ◎お取替えの目安◎
 - ・ブレーキワイヤー：ブレーキワイヤーに錆が見られた場合、ほつれがある場合。あるいは、1年以上使用を続けている場合。
 - ・タイヤ：タイヤの接地面の溝が一部でもなくなった時。キズや亀裂、シワが現れた時。
 - ・ブレーキシュー：制動面の溝が残り1mm以下になる前に交換してください。
 - ・バッテリー：充電の持ちが悪くなった時、充電してもモーターの動作が鈍くなった時。バッテリーが膨張している時。
- お求めの自転車には5年間の安心修理サービスが付いております。
詳細は11ページのご案内をご確認ください。

■主な各部の名称。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1…ハンドル | 13…サスペンション |
| 2…ブレーキレバー | 14…後タイヤ |
| 3…残量計 | 15…後ろブレーキ |
| 4…ライトスイッチ | 16…モーター |
| 5…ホーン | 17…モーター側チェーン |
| 6…ハンドル固定レバー | 18…クランク側チェーン |
| 7…前タイヤ | 19…バッテリーロック |
| 8…前ブレーキ | 20…電源スイッチ |
| 9…ペダル | 21…充電器差込口 |
| 10…ギアクランク | 22…ヒューズボックス |
| 11…サドル | |
| 12…サドル固定レバー | |

付属品

- | | |
|------|-------|
| ◎説明書 | ◎充電器 |
| ◎ペダル | ◎工具 |
| ◎鍵 | ◎ヒューズ |



■電動アシストについて。

電源スイッチを入れ、ペダルを数回まわすことにより、電動アシスト機能が作動します。

■残量計について。

フル充電時には、左から2番目のライト以外がすべて点灯します。

(左端のライトは電源ONの表示で2番目がEmptyです)

残量がなくなってくると消灯して行きますので、早めの充電を行なって下さい。

充電が無くなると左から2番目のライトが (Empty) が点灯します。

■組み立てについて。

この自転車はパーツが分かれて梱包されており、ご購入者様に組み立てていただき、調整をしていただく必要がありますのでご案内致します。なお、付属以外の工具につきましては、お客様にてご用意いただきますようお願いいたします。

① 車体2つ折り部分の組み立て



- 2つ折りをまっすぐにのぼします。その際、ロックレバーを引き上げながらのぼして下さい。その後、ロックレバーを締めて完了です。緩いときは反対側のネジを少し締めて調整します。

③ サドルの取り付けと調整



- サドルのパイプ部分を、自転車本体のパイプの穴に差し込んでください。適度な高さに調整し、ロックレバーを締めてください。

④ ペダルの取り付け



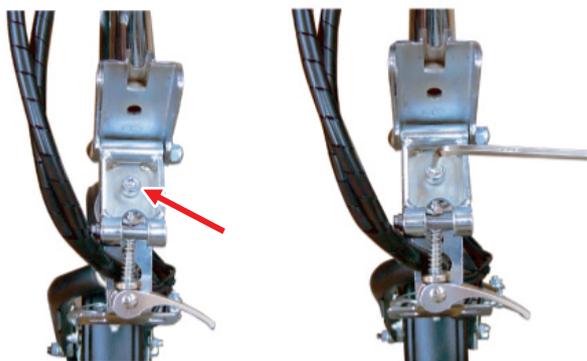
※P9にも詳細説明がありますので併せてご確認ください。

- 手で軽くねじ込み、スパナでしっかりと締め付けます。

② ハンドル接合部分の組み立て



- ロックレバーを締めて、緩い場合はロックレバー調整ネジを締めるように調整してください。



- ハンドルが緩い場合は、接続部分を六角レンチで、ハンドルとタイヤの方向を合わせて締めます。



■バッテリーの取り外し・取り付け方法。

バッテリーのロックキーにカギを差込み、左に回すとロックが解除されます。サドルのレバーを引きながら持ち上げて前に倒し、バッテリーを上を引き上げて取り外します。また、バッテリーの取り付け時には、ゆっくりと奥までしっかりと差し込み、キーを右に回して必ずロックをして下さい。

※**運送中の事故を防ぐ為、バッテリーはしっかりと固定されていますので、初回は強めの引き上げが必要な場合があります。**

※**装着後は必ずロックをしてください。そのまま走行すると、接触不良や破損を生じて、故障の原因となりますのでご注意ください。**



■バッテリーの充電方法。

バッテリーを充電して頂きます際には、下記の手順を**必ず**お守り下さい。

- ① **バッテリーの差し込み口に、充電器プラグをしっかりと接続します**
- ② **ご家庭のコンセントに、充電器のプラグを差し込みます**
- ③ **充電が完了しますと、充電器のランプが赤から緑に変わります**

※ご購入時のバッテリーは充電されておられません、初期充電は8時間以上お願い致します。

※充電の手順を間違えられますと、ヒューズが飛んだり、ショートを起こすなど、故障の原因となる場合がありますので、十分にご注意ください。

充電中に異常に気づいたら！

ただちに電源プラグを抜いて、バッテリーを充電器から取り外してください。

■電源のON・OFF。

バッテリーにある電源スイッチをONにすると電源が入ります。残量計ランプが点灯しますので残量をご確認ください。電源をONにしないと、すべての機能は作動しません。また、駐輪時には電源スイッチを切ってください。

※バッテリーに関する注意事項

- バッテリーは重量があるので、お取り扱いには十分お気をつけください。
- 充電完了の合図になりましたら、早めに充電器をコンセントから外してください。
- 残量計の点灯が少ない場合は、早めに充電を行ってください。
- 専用の充電器以外でバッテリーを充電しますと、バッテリーの発熱・破損・発火の原因になります。専用充電器以外は、絶対に使用しないでください。
- 専用充電器を水没させたり、雨中に放置しないでください。濡れたままご使用になりますと、火災の原因となり大変危険です。また、充電中にバッテリーを破損させることがあります。
- 充電する場所は、下記を満たす場所を選んでください。また、屋外での充電には注意してください。安定がよいところ。水にぬれないところ。直射日光を避け、風通しがよく湿気のないところ。
- 充電が出来なかつたり、充電しても電源が入らない場合は、ヒューズが切れている可能性がありますので、ヒューズボックスをご確認いただき、切れている場合は交換を行ってください。また、すぐにヒューズが切れてしまう場合は、故障の可能性がありますので、販売店までご相談ください。

■ハンドル・サドルについて。

固定する際の締め付け、または差し込みが不十分な状態でご使用になりますと、走行中に抜けたりゆるんで、事故やけがのおそれがあります。固定した後、強く動かしても動かないようご確認ください。

■ブレーキについて。

ブレーキの利きがよくないなど、異常なまま走行すると、止まれずに衝突して事故やけがのおそれがあります。また、ブレーキワイヤーのサビ・切れ・ほつれ・折れ・伸び等がないことをご確認ください。ワイヤーの各部根元には、長さを微調整するネジがあります。

※ブレーキワイヤーは消耗品です。

■クランク・ペダルについて。

変形やひび割れがある場合はすぐに販売店に相談のうえ、交換を行ってください。走行中にこわれて、転倒やけがのおそれがあります。またガタがある場合は直ちに調整を受けてください。

※自転車を転倒させてしまった場合や衝撃が加わった場合は、特に念入りにご確認ください。

■ネジのゆるみについて。

各部のネジがゆるんだ状態で使用すると、走行中に外れて、事故やけがのおそれがあります。前後のブレーキをかけた状態で、自転車を前後にゆすったり、自転車を少し持ち上げて軽く落とした際に、異音やガタがあるような状態ですと、ネジがゆるんでいたり部品が破損している可能性があります。

※電動自転車は通常の自転車より振動が多く、また特に初期状態は各部がゆるみやすくなっています。

定期的に、各部の増し締めを行ってください。

■車輪について。

タイヤにキズや磨耗が無いかご確認ください。空気圧が低いとパンクしやすく、磨耗も早くなります。

※タイヤやチューブは消耗品です。

■お手入れについて。

乾いた布やブラシ等でホコリや汚れを落としてからお手入れしてください。汚れがひどいときは固くしぼった雑巾などで汚れをふき取ってください。

注油箇所は、ブレーキレバーワイヤーの固定部、チェーンなど。

※注油禁止箇所：前後ブレーキシュー、前後リム、タイヤ

■自転車のご乗車前に、必ず下記の基本事項を点検・調整してください。

- バッテリーはきちんと充電してあるか？
- 各部品は正常に取り付けられているか？
- 各部のネジにゆるみはないか？
- タイヤの空気圧は適正か？
- ブレーキはよく効きますか？
- ハンドル・サドルの向き、高さは適正か？
- ハンドル・サドルの締め付けはしっかり行っているか？
- チェーンはゆるみすぎていないか？ サビていないか？

※上記未点検・未調整の状態で行くと車体の破損・事故の原因となりますのでご注意ください。

●ペダル取り付け方

この面に刻印があります。



ペダルには左右の区別があります。ペダルを取り付ける際には、先ずペダルの左右を確認してください。ペダルの左右はネジ山先端部分（平面になっている箇所）に刻印されています。

右足側→Rの刻印
左足側→Lの刻印

取り付けの際は、下記の説明を確認しながら正確に取り付けてください。また、ペダルは車体に向かってまっすぐに取り付けてください。

※右ペダルの取り付け方



※左ペダルの取り付け方



注意

ペダルが入りにくいときは無理をせずに、再度左右を確認してください。

無理やりペダルをねじ込んで装着されると、大変不安定になるだけではなく、クランクのネジ山が削れてペダルが脱落し、大変危険です。また、クランクの修理も不可能になりますので、十分ご注意ください。

※ペダルの取り付け不良による故障は、初期不良期間中でも有償での修理となります。

《各部の点検について》

安全にお使いいただくために、乗車前には下記の点検を行ってください。点検・調整後には試乗して、調整が正しく適切に行われているかどうか再点検を行ってください。

- フレーム：変形やひび割れがないか。
- ハンドル：しっかり固定されているか。
- グリップ：緩みがないか。
- ハンドルステム：しっかり固定されているか、ぐらつきや不安定感はないか。また、進行方向に対してまっすぐ前に向いているかどうか。
- ブレーキレバー：がたつきがなく、しっかり固定されているか。ブレーキは適切に効く状態か。
- ブレーキワイヤー：錆やほつれ、緩みはないか。
- ベル：正しく音が鳴るか（モデルによってはベルが標準装備されていないものがあります。それらの場合は、適当なベルをご用意いただき、必ず装着してから走行してください）。
- 前ブレーキ：正しく効くか、がたつきはないか。
- ブレーキシュー：リムに沿っているか、ずれはないか。磨耗や損傷はないか。
- タイヤ、リム：歪みやゆるみ、がたつきはないか。空気が適正に入っているか（タイヤ・チューブの仕様によって異なりますが、タイヤの上部を親指で押した際、若干へこむ程度が一般的な適正空気圧です）。
- スポーク：折れや歪みはないか。
- 空気バルブ：ゆるみや破損がないか。
- ペダル、クランク：がたつきや緩みがないか。曲がりや損傷はないか。
- チェーン：緩みや錆がないか。
- 反射板：汚れや損傷はないか。取り付け角度は適切か（反射面の向きは進行方向垂直に対して、上下左右5度未満が適切です）。
- サドル：しっかり固定されているか。不安定感やがたつきはないか。

商品がお手元に届きましたら

まずは商品の状態を確認してください。お届けには万全を期しておりますが、商品に不具合や欠損がないか、必ずご確認ください。

(お客様の都合により、開封が遅れた商品へのご対応は致しかねますので、予めご了承ください)

初期不良について

初期不良のご申請期間は、商品到着日より8日間とさせていただきます。商品到着後、何か不具合等がございましたら、まずは販売店までご連絡ください。ご修理もしくはご交換にてご対応させていただきます。ご返送方法や詳細につきましては、販売店までお問い合わせください。

保証の適用除外

- 保証期間が経過している場合。
- 使用者の不注意、使用方法に起因する不具合や消耗品について。
- お近くの自転車屋さんや、他店様でご修理、または改造された場合。
- 衝突／転倒／道路の段差等に乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
- 法令の違反行為(最大積載量オーバー、二人乗り等)によって生じたもの。
※後輪にハブステップをつけられての二人乗りによって生じた故障は保証適用外です。
- 保守／点検の不備または間違いにより生じたもの。
- 酷使または一般に自転車が走行しない場所での走行により生じたもの。
(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面 等)
- 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- 手入れ不十分、保管場所の不備、及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合、及びプラスチック部品等の自然退色、部品の通常の磨耗または疲労と認められたもの。
(タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)
- くぎ、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
- 一般に機能上の影響のない感覚的症状。(音、振動 等)
- 再販でご購入された場合や、その他 販売店の判断に基づき有料と認められる場合。

『自転車防犯登録』について

防犯登録について、ご購入後の盗難に関する責任は弊社では一切負いかねますので、防犯登録はお客様の責任において行ってください。自転車防犯登録は都道府県毎に管理されておりますので、全国へ販売を行っております弊社のような通信販売店では自転車防犯登録を行うことが出来ません。お近くの自転車防犯登録所(自転車販売店、ホームセンター等の自転車を販売している所)にて、自転車本体・身分証明書・弊社の発送確認メールを印刷したものをお持ち頂き、自転車防犯登録を行ってください。

※防犯登録の前に、必ず商品の検品を行ってからご加入下さい。万が一防犯登録後に不良などにより返品される場合は、返品前に防犯登録の解除手続きをお願いすることになります。

※料金は各地域によって異なりますが、500円~1,000円程度が一般的です。

※電動自転車に関しましては、防犯登録の対象外となる場合もございます。

※海外製品でございますので、車体番号のあるものとないものがございます。

車体に刻印されている車体番号は控えを取り大切に保管してください。

※車体番号は各自転車固有のもので、紛失されましても、弊社ではお調べする事が出来ません。

※車体番号のない自転車は、^{カギ}型(16インチ電動つき自転車等)で登録を行う事が可能です。

お求めいただきました自転車には、5年間の安心修理サービスがついております。

当店だけの購入特典！ 5年間安心修理サービス

点検メンテナンス、故障メンテナンス（自損を含む）を承ります。

安心の特別価格でご修理いたします！

ご修理費2,000円～最大8,000円+往復送料

◎最大の修理料金が設定されているので、安心して修理に出して頂け、お見積もり後の修理も可能です。

※消耗品は別途となります。消耗品に関しては4ページをご確認ください。

- ・修理の自転車を、弊社指定場所へお送り頂く必要がございます。
 - ・弊社へお送りいただきます送料、弊社よりご返却の際の送料はお客様のご負担となります。
 - ・お送りいただく際の商品の梱包は、お客様お手元での梱包となります。
- ※商品をお届けしました際の外箱は保管して頂きますと、安心修理ご利用の際にもお使い頂け便利です。（下記をご参照ください）

●安心修理サービスの流れ●

- ①まずは、お電話かメールにてご連絡ください。その際、お手元に自転車ご購入時の購入店舗名と、ご注文者様のお名前（フルネーム）をご用意頂きますと、ご対応がスムーズになります。
 - ②症状をお聞かせください。お受付番号とご返送方法をご案内いたします。
 - ③ご案内に沿って、自転車をご返送ください。専門の修理スタッフが自転車を確認させて頂きましたあと、ご修理内容とお見積もりをご案内いたします。
 - ④お見積もりにご了承を頂きましたあと、ご修理させて頂きます。
- ※お受付時に、症状とご使用期間から概算見積もりのご案内も可能です。
 その際にお見積もりにご了承を頂きました場合は、「事前ご了承済み」としてすぐにご修理に取り掛からせて頂き、より早く自転車をお手元にご返却できます。
 （事前のお見積もり金額と実際のお見積もり金額が異なり場合は、担当より改めてご連絡させて頂きます）
- ⑤ご修理・点検・整備完了後、自転車をお手元にご返却いたします。
- ※ご修理費に関しましては、発送前のお支払いもしくは自転車到着時のお支払い（代金引換）にてお願いしております。

- * 故障箇所によっては特殊な部品の手配が必要となるため、ご修理に1ヶ月以上かかる場合もございます。
- * ご修理と併せて点検も行わせていただきます。消耗品等に関しまして、お取替えをご案内させていただきますこともございます（消耗品はご修理費と別途有償となります）。
- * 安心修理サービスご利用でのメンテナンスや組み立てサービスも承っております。お気軽にお尋ねください。
- * 弊社からのご購入ではなく、正規販売店様よりお求めのお客様のご修理に関しましては、保証書（説明書最終ページ）を弊社にご提示いただきましたら、弊社でのご修理も承っておりますが、まずお求めのショップ様へお尋ねください。
- * 消耗品に関しまして（4ページ参照）は別途ご販売もさせていただいております。部品をお求めいただきます際にも、受注番号とお名前（フルネーム）をお聞かせいただけますと、ご対応がスムーズになります。

お届け時の外箱（段ボール箱）に関しまして

- お届けの際に、商品が入っていました外箱（段ボール箱）は、万が一初期不良が発生した場合、ご返品に使用して頂く箱となります。お届けから8日間のご申請期間中は、必ず保管して下さいますようお願い致します。
- 外箱なしでご返送頂きました場合、ご修理完了後（もしくはご交換の際）弊社で外箱のご用意もしくは梱包をさせて頂きまして、ご返却をさせて頂きます。その場合は、梱包代（500円～1,000円）がかかって参りますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。

